

NOTICE サポセンからのお知らせ

● 市民ライター講座 2015
～取材・執筆体験で磨く！情報発信力～

日時：5月22日・5月29日・6月5日・6月12日
いずれも金曜日午後6時半～午後8時半
5月30日（土）午後から取材体験
書くことで、仙台のまちや人とつながろう！
体験で「伝える力」を磨きます。
講師：大泉大介さん（河北新報デジタル推進室記者）
場所：仙台市市民活動サポートセンター
定員：10名（原則5回連続参加の方を優先）
参加費：無料
申込み〆切：5月12日（火）
申込み・問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター
TEL：022-212-3010 / FAX：022-268-4042

● 90分でNPOの基礎を学ぶ
NPOいろは塾

日時：5月23日（土）午後1時半～午後3時
講座の内容
1. NPOについての基礎知識
2. NPOはじめの一步
3. サポセンガイドツアー
場所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
定員：20名
参加費：無料
申込み・問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター
TEL：022-212-3010 / FAX：022-268-4042

● 仙台市市民協働事業提案制度 説明会開催

①日時：5月10日（日）午前10時半～午後12時半
場所：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール
②日時：5月13日（水）午後6時半～午後8時半
場所：仙台市役所 本庁舎6階 第1会議室

仙台市市民協働事業提案制度とは、地域の課題について、皆さんの提案をもとに、仙台市と協働で解決していく制度です。団体の専門性やネットワークを活かし、仙台市とともに取り組むことで、地域のニーズにこたえることが見込まれる事業を募集します。2回とも説明会の内容は同じですので、ご都合に合わせてご参加ください。※応募する場合は、①・②のいずれかに参加してください。詳しくは、仙台市ホームページをご覧ください。http://www.city.sendai.jp/manabu/shimin/katsudo/1217492_1761.html
問い合わせ：市民局市民協働推進部市民協働推進課
TEL:022-214-8002 FAX:022-211-5986 MAIL:sim004100@city.sendai.jp

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちの拠点施設です。

このようなご相談おまかせください。

- 市民活動の立ち上げ、法人格の取得、団体運営、組織運営などの相談
- 協働についての相談
- 復興支援活動、シニア活動・セカンドライフなどの相談

今月の休館日： 5月13日（水）、27日（水）

“ぱれっと”リニューアルしました！

このたび、サポセン機関紙の「ぱれっと」が新しくなりました。様々な思いを持つ人々が力を合わせ、地域や社会を良くしようと活動する姿を発信します。また、地元クリエイターや、学生記者、市民ライターの皆さんと連携し、多様な視点で「市民活動」「協働のまちづくり」を伝えていきます。

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00 日曜日・祝日 9:00-18:00 / 休館日 毎月第2・第4水曜日（祝日の場合は翌日木曜日）年末年始

HP http://www.sapo-sen.jp
Blog http://blog.canpan.info/fukkou/
Twitter @sensapo

発行 仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ

発行日 2015年5月1日
編集 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
編集人 菊地 竜生 太田 貴 菅野 祥子 葛西 淳子 松村 翔子

「ぱれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。

▶ぱれっと読者アンケートにご協力をお願いします。サポセンホームページからアクセスいただくか、携帯電話等でQRコードを読み取ってご利用ください。



仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間2015年4月1日～2020年3月31日]

リニューアルしました！

ぱれっと 5

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2015 No.189

“ぱれっと”には、サポセンにいろいろな人が集まり、それぞれの色（個性）が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



今月のワクワクビト

多様な人が関わり
新しい価値が
生まれるまち・仙台

仙台市市民活動サポートセンター
(NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター)
菊地 竜生
TATSUO KIKUCHI

仙台市市民活動サポートセンター（以下サポセン）の菊地竜生センター長（31）は、少年時代からパンクロックが大好き。大学生の頃、障害のある人もない人も、音楽で「心のバリアフリー」を目指す「とっておきの音楽祭」に実行委員として参加。活動を通じて「音楽と福祉という異分野のコラボレーションが、人やまちを変えられるんだ」と、衝撃を受けます。自身の固定概念が壊され、まちに新しい価値を生む場づくりに関わったことが、今の仕事につながっているそうです。サポセンの役割は、自分たちの住むまち、社会を良くするために地域や社会の問題に、いろいろなアイデアで取り組んでいる団体、活動している人、活動を始めようとしている人を応援すること。これからのまちをともにつくっていく世代に「アンテナ高く、自分たちが住むまちの面白い人、県内外の地域の取り組みなど様々な情報に触れて、アクションを起こしてほしい」と、エールを送ります。

NPO 法人せんだい・みやぎNPOセンター（仙台市市民活動サポートセンター指定管理者）
連絡先：〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル7F

幅広く地域や分野を越えたNPOの活動基盤強化を図り、多様なセクターとの新しい市民社会づくりを目指しています。その事業の一つとして、仙台市市民活動サポートセンターの管理・運営を行っています。「なにか始めたい」「NPOを立ち上げたい」という方は、お気軽にサポセン窓口までお越しください。

特集

子どもたちに“いのち”の大切さを伝える

みやぎ夢燈花



特集

子どもたちに♡の大切さを伝える みやぎ夢燈花

手づくりのろうソクに火を灯し、みんなで願う夢燈花。「子どもたちの平和と安全が守られますように」と、市民活動団体と地域の人々が協働し、想いの種が大きな花を咲かせた事例をご紹介します。



みやぎ夢燈花
会長

いし かわ たけし
石川 健さん

南中山地区社会福祉協議会事務局長
みやぎ夢燈花会計

おかざきのりこ
岡崎 典子さん

元南中山連合町内会会長
みやぎ夢燈花副会長

あらうみただひこ
荒海 忠彦さん

南中山小学校区子ども育成会
みやぎ夢燈花実行委員

むらまつひとみ
村松 瞳さん

つながりが、人災・災害のリスクを減らす

仙台市泉区南中山地区では、毎年南中山小学校を会場に、地域のみんで手づくりした 2,000 個余のろうソクに火を灯し、子どもたちの平和と安全を願うイベント「みやぎ夢燈花」が行われています。2007年に第1回目を開催し、2015年で9回目を迎えました。

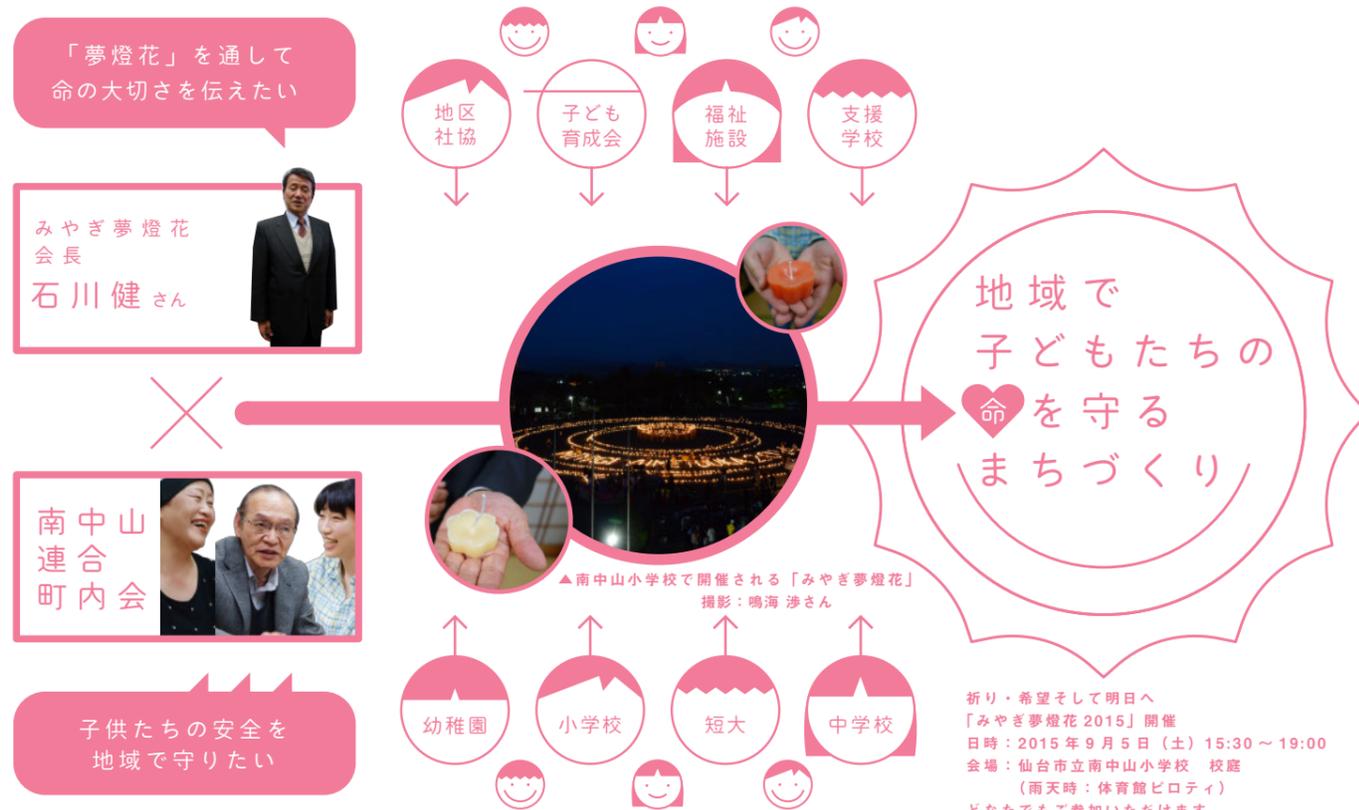
夢燈花の活動は、2001年に大阪教育大学附属池田小学校でおきた、小学生無差別殺傷事件をきっかけに、命の大切さ、子どもたちの平和を願って池田市で始まりました。当時、宮城県立光明養護学校（現、光明支援学校）の校長を務めていた石川さんは、その主旨に賛同。「いけだ夢燈花」のろうソク作りに生徒と協力してきました。2006年に、当時の養護学校関係者や、南中山地区連合町内会有志と「みやぎ夢燈花」を設立。人災・震災のリスクを減らすため、地域のネットワークづくりを仕掛けています。

夢燈花から広がる協働のまちづくり

約 2,800 世帯の住民が暮らす南中山地区。幼稚園、小学校、中学校、短大、障がいのある方が通い、生活する光明支援学校と啓佑学園があります。「子どもたちの安全は、地域で守る」という意識の高かった連合町内会の声掛けで、地区社協や南中山小学校、南中山小学校区子ども育成会のお母さんたちも巻き込み、活動の輪が広がっていきました。

新しいつながりができるのも、活動の魅力です。地区社協の岡崎さんは、「夢燈花に参加した学生や子どもたちが、日常的な地域ボランティアにも参加してくれるようになったんです」と嬉しそうです。子ども育成会の村松さんは、「とにかく準備が大変でしたが、楽しく、達成感がありました」と話します。イベントを通して、住民一人ひとりが地域社会で支え合いながら生きていることを実感しています。

図解 子どもの平和と安全を守るまちづくり



このまちは、子どもたちのふるさと

現在、みやぎ夢燈花の会員は 20 名。実行委員会には、連合町内会を中心とした地域の諸団体約 8 団体が参加。それぞれの団体で活動しながら、自主的に夢燈花の活動に参加しています。「ここまで広がるとは思わなかった」と石川さん。地域や立場、障がいのある、なしを越え、風通しの良い交流の場を生み出しています。

「もっと多くの人に参加してほしい」と皆さん。「みやぎ夢燈花」の活動は、地域の人と人をつなぎます。そして、協力

して準備に取り組んだ経験は、自分がこのまちの一員であること意識や、まちへの愛着を育てます。「子どもたちに、帰って来る“ふるさと”をつくってあげたい」と元連合町内会会長の荒海さんは話します。池田市から灯された、「子どもたちを守ろう」という思いは、仙台の新たなふるさとづくりへとつながっています。(松村翔子)

みやぎ夢燈花
〒989-4419 大崎市田尻小松字地藏堂 46-4
TEL: 090-9426-1353 Mail: ishiken1353@yahoo.co.jp
Blog: http://blog.canpan.info/dreamcandle/

『世界がもし 100 人の村だったら—完結編—』

世界の人口は 68 億人。世界で起きている様々な問題を「世界がもし 100 人の村だったら?」と置き換え、数字で表しながらわかりやすく伝えています。シリーズ完結編として、「幸せの 5 つの条件」を提示。今、自分たちに何ができるかを考えるきっかけとなる一冊です。



仙台のまちなかに音楽があふれる とおきの音楽を楽しもう!

2015 年 6 月 7 日(日)、障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽のチカラで、「心のバリアフリー」を目指す「とおきの音楽祭」が開催されます。当日の運営ボランティアを募集中。詳しくは、実行委員会ホームページをご覧ください。HP: http://totteokino-ongakusai.jp/



▲今年で 15 年目の節目の年です

「NPO ってなんだろう?」を 90 分で解決 NPO いろは塾

NPO いろは塾は、NPO の基礎知識が習得できます。2004 年の開講から、これまで、のべ 880 人以上が受講した人気の講座です。「NPO って何だろう?」「どんな人がやってるの?」と疑問に思っている方や「これから NPO に関わりたい!」と考えている方へ、NPO の定義や仕組みまで、サポセンスタッフが塾長となってお伝えします。受講後はイベントに参加する方、活動に参加する方、ご自身で団体を立ち上げる方など、様々な形で皆さんが活動の一步を踏み出しています。意外と身近な NPO。NPO いろは塾を通して、NPO に関わる方々の活動や想い、地域の課題や社会の課題を見つめてみませんか。



▲サポセン館内を巡るガイドツアーもあります